

5月

51昭和
1976

横浜市関係

- 1 ノーカード一五年目を迎える
- 5 市民ギャラリーで「浜田庄司陶芸展」
- 6 市会第七委、地下鉄3号線横浜駅西口～新横浜駅間ルート陳情審査で地下鉄3号線建設調査会が示した「B案検討案に変更することもやむを得ない」と結論
- ▽市公害対策局、大気汚染と住民の健康調査で道路周辺でやや高い有症率と報告
- 7 横浜新貨物線反対同盟、今春開通した武蔵野南線公害に関連し公開質問状
- 8 市会災害対策特別委で消防局長、五千キロリットル未満の屋外タンク点検で三六八基が基準値以上の不等沈下と報告
- 15 神奈川区区民のつどいが「五十一年度予算と市民生活」をテーマに横浜駅西口県政総合センターで開催
- 18 市会五月定例会開会
- 19 市会第三委で金沢区の埋立地に並木一～三丁目、幸浦一～二丁目と町名決定
- 20 市会第二委で国民健康保険事業費補正予算案を可決。▽ハンガリー・ブタブスタのスケブルギー市長が市長表敬訪問
- 21 市会第五委で市営住宅の高所得入居者明け渡し条例案可決
- 24 市会第一委で印鑑証明手数料を引き上げる条例の一部改正など九議案を可決
- 27 市会本会議で市長、米軍鶴見貯油施設立入り検査問題で、場合によっては訴

自治体・国・社会

- 1 五十年中の「高所得者高位者」は土地など譲渡所得。▽総理府四月の東京区部、消費物価指数一八七・一前月比一・七増で二ヶ月逆戻り。3. 建設省、はじめての「地下水位年表」発表。4 総理府「物価についての消費者意識の実態に関する調査」で国民の半数以上が物価指数に無関心。▽熊本水保病で元チンソ社長ら二人が「業務上過失致傷」で刑事起訴。7 文部省「我が国の教育水準」発表。▽横浜市旭警察署、「残土の捨て場世話する」と八百万円詐取男逮捕。
- 8 五十一年度予算、総額二四兆二、九六〇億円を参院本会議で可決成立。▽建設省、激じん災害対策特別事業の要領で全壊五〇戸以上など対象と決定。12 経済審議会、実質成長六％強のゆとりある福祉型社会をめざす「昭和五〇年代前期経済計画」を首相に答申。13 東京湾岸自治体公害対策会議、五十年十一月の工場排水立入調査結果で生活系排水に違反と発表。15 神奈川県下で暴走族横行、神戸市では「神戸まつり」取材中の新聞社カメラマンが暴走族警備の車にひかれ死亡。17 飛鳥田横浜市長、国民春闘再建で市民を含めた要

6月

51昭和
1976

横浜市関係

- 1 建築許可をめぐる汚職容疑で県警捜査二課、市民局宮本恒雄日照相談室長と同事件に関連し建築設計業者一人を逮捕
- ▽磯子区の裏道から車幅規制スタット
- 2 市長、日照相談室長の汚職問題で緊急記者会見。「力を入れていた日照相談室でこのような事件が起ったことはショックだ。もし事実なら遺憾だと私たち自身も反省している。事件は、日照相談室の機構が生んだものでなく、全く個人的なものだと思ふ」と述べた。▽横浜市民ホールで開港一八八年を祝う市民のつどい
- 4 市長、日照汚職について処分と当面の措置で、宮本室長を懲戒免職、市長など五人を減給し、市民に「おわびする」声明を発表。▽日照汚職に関連し、綱紀粛正の助役通達
- 5 日照汚職に関連し大和ハウス工業を指名停止

自治体・国・社会

- 求作りが必要と発言。19 京都市で七大都市市長懇が自主権拡大など打出す。21 最高裁、学力テスト適法と逆転判決。▽建設技術開発会議、環境評価で試案作成。24 第七回通常国会閉会。▽NHKテレビ受信料六月から値上げ。25 東京都都市公害対策審議会、硫酸酸化物を半減する総量規制など答申。
- 3 日本経済調査会「資源の有効利用」で再利用率一六％なので再利用率高めるよう提言。▽中央職業訓練審議会、生涯訓練の基礎づくりを労相に答申。
- 4 神奈川県警、佐竹綾瀬町長を下水道工事をめぐる取賄容疑で逮捕。8 東京湾岸自治体公害対策会議で東京湾の合同調査実施。9 建設省、「都市緑化対策推進要綱」で公園に五〇％の緑化率を推進。▽国税庁「脱税白書」によると史上最高の脱税額、個人トップは児玉晋士夫。
- 10 スモン訴訟で製薬三社が和解提案。▽自治省、地方公務員汚職続発で各都道府県に綱紀粛正の事務次官通達。▽任期満了に伴う埼玉県知事選は、畑和現知事が無投票再選。11 法務省、刑法改正の基本構想を中間発表

- 8 市長、防衛庁長官、外相を訪ずれ米軍鶴見貯油施設入り点検で要請
- 9 市会第三委で小泉助役、日照汚職で陳謝
- 15 日照相談室をめぐる汚職事件に関連し、市民局長、相談部長、日照相談室長など三十一名の人事異動
- 18 日石横浜製油所で六月一日の火災に引続き、また爆発事故
- 22 公害研究所が開所。▽横浜地検、日照汚職で宮本恒雄前日照相談室長を収賄、米津暁男日建企画社長を贈賄で起訴
- 23 市会臨時会で市長、日照汚職事件で陳謝。要綱改正、相談業務改革を示唆
- 28 中消防署新庁舎、山吹町で業務開始。▽英文広報紙「ヨコハマエコー」創刊
- 29 市民局長、七月から実施する日照指導要綱、相談業務改革案など公表
- 30 市会第一委、日照汚職に伴う市長の減給処分を行う常勤特別職の臨時特別に関する条例を可決
- 1 市会第七委、地下鉄延伸に伴う新運賃体系で暫定期間、一区間六〇円に修正可決。▽学校建設公社の新理事長に草川正就任
- 2 市会臨時会本会議、市長の「減給条例」、地下鉄新運賃体系など可決、また任期切れに伴う大場正典助役の再任案を了承し閉会
- 3 旭区民会議の一環として、地域的問

- したが「保安処分」など主要項目は草案通り。▽神奈川県、米軍基地ボイラー用燃料で低硫黄使用を要請。13 建設省、多摩川決壊を反省し「河川管理施設等の構造基準令」(仮称) 試案をまとめ関係省庁と協議。14 沖繩知事選で革新二代目の平良幸市氏当選。17 七大都市市長懇、大都市行財政改革で政府に要請。
- 18 第一六次地方制度調査会、三木首相に住民の自治意識の向上に資するための方策に関する答申提出。21 国有財産中央審議会、基地跡地で三分割方式を蔵相に答申。24 三木首相、アエルトリック・サンファンでの七カ国首脳会議出席のため出発。
- 29 全国市長会「低経済成長下の都市政策に関する提言」で人口五〇万人以上を指定市にすべきと提言。30 全国市長会会長に平山浜松市長が再選。
- 1 神奈川県、一ヘクタール以上の開発対象に二〇%「植樹地」確保の「みどりの協定」スタート。
- 3 内閣広報室、国民の生活意識調査で国民の六〇%が現在の暮らしに満足、物価に悩む九〇%など発表。4 総理府老人対策室、「老後の生活設計」に関す

- 題を話し合う希望が丘地域会議発足
- 5 県下河川水質ワースト3は、入江川、矢上川、滝の川といずれも市内河川
- 6 公園、緑地の管理運営を効率的に進める市公園協会設立
- 7 港湾局、川崎市、民間関連企業などが京浜運河で流出油訓練
- 9 沖繩県の新旧知事が市長と県知事を訪問、基地対策協力など話し合う
- 10 大岡川分水路の一部が完成し通水式
- 12 川崎市で第二回の「県・横浜・川崎三首長懇談会」があり協調行政で具体化を協議
- 12 日照汚職、磯子駅前開発にも波及し県警は、会社社長など二人逮捕
- 15 大通り公園「みどりの森」オープン
- 16 第二七回五大都市体育大会が十八日まで市内各競技場で開幕。▽市長、松宮助役、道路局長、五重点道路整備助成で大蔵、建設相へ要請
- 19 ベトナム、ラオス、中国の友好三カ国から市長表敬訪問あいつぐ
- 22 市残土処理対策協議会、初の「残土白書」を公表
- 26 おまつりや郷土芸能など活発な区民交流をはかる区活動費の行事内容を発表
- 28 磯子駅前のマンション建設に関連し市と住民の話し合い行なわれる
- 29 市基本都市計画審議会、〃線引き〃変更で市の基本原則了承。

- る調査」で壮年層の六四%が定年後も仕事をしたいという結果など公表。6 全国知事会臨時行財政基本問題研究会、新しい委任事務は完全な財源措置がなければ拒否と提言。7 川崎市、五〇年度一般会計三六億余円の実質黒字決算見通しを発表。▽警察庁、五十一年上半期の贈収賄事件実態調査をまとめたが、全国で七十二件摘発。8 東京地検、若狭全日空社長を逮捕。9 東京都防災会議地震部会、ランド広域測定結果から「当面、直下型地震はない」と判断。10 革新中道勢力結果をめざす「新しい日本を考える会」スタート
- 12 南伊豆で集中豪雨、死者不明一五人。13 東京地検、ロッキード事件で松山丸紅社長逮捕。▽大蔵省、基地跡地三分割有償方式のうち留保地の利用で地元管理打出す。17 土地開発公社の汚職問題で松本前千葉県知事逮捕。▽カナダ、モントリオールで第二一回オリンピック開幕。
- 20 米、バイキング一号、火星軟着陸。23 総評議長に日教組横枝元委員長。26 神奈川県綾瀬町長に鈴木進氏当選。27 東京地検、ロッキード事件に関連し田中角栄前首相逮捕。28 中国唐山でM七・三の大地震。
- 30 東京湾岸自治体公害対策会議、東京湾浄化で環境庁などへ要望。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川県新聞を参考にした。* 印は日付不確定のため新聞発行日。